

ローマ大学サピエンツァ校
ヨーロッパにおけるアジア共同体
実施期間：2015年10月~12月

(各委嘱講師はローマ大学サピエンツァ校 ISO (東洋学イタリア研究所[以後ローマ大伊東洋学研究所と略記]) で2講義を行う)

- 第1回 「境界を越える共同体の創設；挑戦すべき課題」
(10月12日) Antonetta L. Bruno (ローマ大伊東洋学研究所、教授)
- 第2回 「アジアの地政学とアジア共同体」
(10月16日) 韓国大使
- 第3回 「アジアの地政学とアジア共同体」
(10月19日) 日本大使
- 第4回 「アジアの地政学とアジア共同体」
(10月23日) 中国大使
- 第5回 「アジア共同体を創設する動きについて：東アジア（北東・南東アジア）と中央アジア」
(10月26日) Kim Youen (漢陽大、国際関係大学院、教授)
- 第6回 「東アジアにおける地域統合の現況と将来展望」
(10月30日) Kim Youen (漢陽大、国際関係大学院、教授)
- 第7回 「20世紀以前の中国、朝鮮、日本間の貿易」
(11月6日) Kent Deng (ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、准教授)
- 第8回 「20世紀における中国、朝鮮、日本間の経済成長と発展、および経済協力」
(11月8日) Kent Deng (ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、准教授)
- 第9回 「世界秩序に関する儒教の見解：アジアのアイデンティティ」
(11月13日) Rosa Caroli (ヴェニス大比較言語・文化学部、准教授)
- 第10回 「東アジアの世界秩序の崩壊とアジアのアイデンティティ：外因的および内因的視点から」
(11月16日) Rosa Caroli (ヴェニス大比較言語・文化学部、准教授)
- 第11回 「東アジアにおける3極安全保障協力：ユートピアか具体的可能性か」
(11月20日) Antonio Fiori (ボローニャ大、准教授)
- 第12回 「北東アジアのエネルギー協力の地政学」
(11月23日) Antonio Fiori (ボローニャ大、准教授)
- 第13回 「不平等条約時代の東アジア」
(11月27日) Marco del Bene (ローマ大伊東洋学研究所、非常勤教授)
- 第14回 「東アジアの第一次大戦後処理に関する21箇条要求」
(11月30日) Marco del Bene (ローマ大伊東洋学研究所、非常勤教授)

- 第 15 回 「歴史とアジア共同体：1592-1598 の東アジア戦争：戦前および戦時の世界
(12 月 4 日) における日本、朝鮮、中国」
Lewis (オックスフォード大、東洋研究所、准教授)
- 第 16 回 「歴史とアジア共同体：1592-1598 の東アジア戦争：戦時および戦後の世界
(12 月 7 日) における日本、朝鮮、中国」
Lewis (オックスフォード大、東洋研究所、准教授)
- 第 17 回 「朝鮮、日本、中国の家族制度の差異と類似性」
(12 月 11 日) Giuseppina De Nicola (ローマ大伊東洋学研究所、客員教授)
- 第 18 回 「韓国、中国、日本の立場から見たアジアの植民地主義」
(12 月 14 日) Rosella Ideo (トリエステ大、助教授)
- 第 19 回 「19 世紀の朝鮮、日本、中国の旅文学」
(12 月 18 日) Maurizio Riotto (ナポリ大東洋研究所、准教授)
- 第 20 回 「アジア共同体の隆盛、アイデンティティのために」
(12 月 21 日) 佐藤洋治 (ワンアジア財団、理事長)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。